

令和5年度 農作物病虫害発生予察9月月報

令和5年(2023年)10月3日
山口県病虫害防除所

I 気象概況

アメダス山口県山口地点

月・半旬	気 温 (°C)								
	平均			最 高			最 低		
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差
9.1	27.0	25.6	1.4	31.4	30.8	0.6	23.6	21.7	1.9
9.2	26.0	24.9	1.1	32.1	30.2	1.9	21.6	21.0	0.6
9.3	25.9	24.1	1.8	30.1	29.4	0.7	23.1	20.1	3.0
9.4	27.1	23.1	4.0	32.4	28.6	3.8	23.9	19.0	4.9
9.5	24.3	22.1	2.2	29.6	27.6	2.0	20.3	17.8	2.5
9.6	24.9	21.2	3.7	30.6	26.7	3.9	21.1	16.8	4.3
平均・計	25.9	23.5	2.4	31.0	28.9	2.2	22.3	19.4	2.9
月・半旬	降水量(mm)			日照時間(h)					
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差			
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差			
9.1	60.5	34.3	26.2	20.8	26.7	△ 5.9			
9.2	4.5	31.5	△ 27.0	41.8	26.0	15.8			
9.3	35.5	29.7	5.8	16.3	25.5	△ 9.2			
9.4	26.0	29.0	△ 3.0	21.9	25.5	△ 3.6			
9.5	17.5	28.6	△ 11.1	23.3	25.5	△ 2.2			
9.6	1.0	26.9	△ 25.9	26.2	25.5	0.7			
平均・計	145.0	180.0	△ 35.0	150.3	154.7	△ 4.4			

II 作物の生育状況

- (1) イネ : 「コシヒカリ」、「ひとめぼれ」は、概ね収穫済みで、平年並～やや少ない収量の見込み。中生品種の出穂は平年並で、穂数は平年並～やや少ない。
- (2) ダイズ : 6月播種は子実肥大期、7月播種は莢伸長期。着莢は概ね平年並だが、一部で、干ばつによる落花・落莢があった。
- (3) カンキツ : 8月以降降水量が少なく、果実肥大は平年に比べやや小さい。糖度は平年に比べ概ね高く、酸は低い傾向となっている。7月以降の高温により、日焼け果が多い傾向にある。
- (4) ナシ : 9月末までに収穫された品種では、果実肥大は平年並み、糖度は品種・産地でばらつきはあるものの、概ね平年並みであった。
- (5) キャベツ : 8月下旬から9月中旬にかけて定植が行われた。降雨が少なかったところでは、一部定植遅れが見られたが、概ね順調に定植が行われ、生育は順調に推移している。
- (6) イチゴ : 定植作業は概ね9月下旬までに行われた。今年の花芽分化状況は、「かおり野」は例年並みの9月中旬頃、「紅ほっぺ」や「さちのか」は例年に比べやや遅く9月下旬頃となった。

III 病害虫の発生状況

1 普通作物

2023年9月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
イネ いもち病 (穂いもち) (調査ほ場数：中旬61 下旬33)	中旬の巡回調査では、発生ほ場率33.3% (平成23.0%)、発病株率9.1% (平成6.3%)、発病穂率1.0% (平成1.2%)、発病度0.6 (平成0.8) で平成並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率30.3% (平成32.2%)、発病株率6.4% (平成10.5%)、発病穂率0.5% (平成2.4%)、発病度0.3 (平成1.8) で平成並みであった。	県内全域	中 224
			少 4,480
			計 4,704
紋枯病 (調査ほ場数：中旬62 下旬38)	中旬の巡回調査では、発生ほ場率37.1% (平成27.4%)、発病株率8.1% (平成5.8%)、発病度3.1 (平成2.3) で平成に比べやや多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率47.4% (平成32.3%)、発病株率10.5% (平成7.3%)、発病度4.1 (平成2.9) で平成に比べやや多かった。	県内全域	多 224
			中 672
			少 4,256
			計 5,152
ごま葉枯病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率50.0% (平成29.0%)、発病株率23.2% (平成15.7%)、発病度5.7 (平成4.2) で平成に比べ多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率65.8% (平成37.9%)、発病株率40.5% (平成23.1%)、発病度10.8 (平成6.7) で平成に比べ多かった。	県内全域	中 1,568
			少 5,152
			計 6,720
白葉枯病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平成0.1%)、発病株率0% (平成0.0%)、発病度0 (平成0.0) で平成並みであった。	—	—
縞葉枯病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平成0.8%)、発病株率0% (平成0.0%) で平成並みであった。	—	—
もみ枯細菌病 (調査ほ場数：49)	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平成8.6%)、発病株率0% (平成1.7%)、発病穂率0% (平成0.2%) で平成に比べやや少なかった。	—	—
稲こうじ病 (調査ほ場数：中旬48 中旬35)	中旬の巡回調査では、発生ほ場率8.3% (平成8.0%)、発病株率1.3% (平成1.0%) で平成並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率8.6% (平成24.7%)、発病株率0.7 (平成2.7%) で平成に比べ少なかった。	県内全域	多 448
			中 224
			少 224
			計 896

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
イネ トビイロウンカ (調査ほ場数：中旬62、 下旬38)	中旬の巡回調査では、発生ほ場率1.6% (平成36.9%)、10株当たり虫数0.0頭 (平成21.4頭)、10株当たり短翅型成虫数 0.0頭(平成1.3頭)で平年に比べやや少な かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率5.3% (平成33.7%)、10株当たり虫数0.0頭(平 年29.3頭)、10株当たり短翅型成虫数0頭 (平成0.3頭)で平成並みであった。 定期巡回調査経路上における坪枯れ発生ほ 場視認調査では、中旬、下旬共に発生が認 められなかった。	県内全域	少 448
コブノメイガ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率67.7% (平成35.4%)、被害葉率2.2%(平成 1.3%)で平年に比べやや多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率78.9% (平成38.9%)、被害葉率3.3%(平成2.0%) で平年に比べやや多かった。	県内全域	多 224 中 1,795 少 7,403 計 9,422
ニカメイガ、イネ ヨトウ	中旬及び下旬の巡回調査では、発生は認め られず平成並みであった。	—	—
イネクロカメムシ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率3.2% (平成1.2%)、25株当たり虫数0.1頭(平 年0.0頭)で平年に比べ多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率2.6% (平成0.8%)、25株当たり虫数0.0頭(平 年0.0頭)で平年に比べやや多かった。	県内全域	中 224 少 224 計 448
斑点米カメムシ類 (調査ほ場数：中旬30)	中旬の巡回調査では、発生ほ場率76.7% (平成48.6%)、20回すくい取り虫数4.4 頭(平成1.4頭)で平年に比べ多かった。 主要種はイネカメムシ、アカスジカスミカ メ、クモヘリカメムシ、ミナミアオカメム シであった。	県内全域	甚 224 多 897 中 673 少 3,365 計 5,159
イネカラバエ (調査ほ場数：62)	中旬の巡回調査では、発生は認められず平 年並みであった。	—	—
ダイズ (調査ほ場数：21) べと病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率42.9% (平成33.4%)、発病株率35.8%(平成 22.4%)、発病度9.0(平成6.4)で平成並 みであった。	県内全域	少 369
葉焼病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率38.1% (平成37.1%)、発病株率35.8%(平成 24.7%)、発病度9.0(平成6.4)で平成並 みであった。	県内全域	少 328

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)	
ダイズ 立枯性病害(白絹病、黒根腐病)	下旬の巡回調査では、発生ほ場率14.3% (平年1.9%)、発病株率0.3% (平年0.0%) で平年に比べ多かった。 発生の主体は、白絹病であった。	県内全域	少	123
葉枯性病害(褐色輪紋病)	下旬の巡回調査では、発生ほ場率47.6% (平年30.9%)、発病株率23.3% (平年23.3%)、発病度4.9 (平年11.0) で平年並みであった。	県内全域	少	410
ハスモンヨトウ	中旬の巡回調査では、白変葉発生ほ場率61.9% (平年45.7%)、1a当たり白変か所数0.6か所 (平年1.0か所)、m ² 当たり虫数2.5頭 (平年1.6頭) で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、白変葉発生ほ場率57.1% (平年24.3%)、1a当たり白変か所数1.1か所 (平年0.5か所)、m ² 当たり虫数1.8頭 (平年0.8頭) で平年に比べやや多かった。 主体は若中齢幼虫であった。	県内全域	中 少 計	182 364 546
オオタバコガ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率4.8% (平年19.9%)、m ² 当たり虫数0.0頭 (平年0.1頭) で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率19.0% (平年8.8%)、m ² 当たり虫数0.0頭 (平年0.0頭) で平年並みであった。	県内全域	少	182
吸実性カメムシ類	中旬の巡回調査では、発生ほ場率76.2% (平年58.1%)、m ² 当たり虫数1.0頭 (平年0.6頭) で平年に比べやや多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率85.0% (平年67.6%)、m ² 当たり虫数1.8頭 (平年0.9頭) で平年に比べ多かった。	県内全域	甚 多 中 少 計	45 136 227 364 772
アブラムシ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率28.6% (平年26.4%)、10小葉当たり虫数9.0頭 (平年7.7頭) で平年並みであった。	県内全域	多 中 少 計	91 136 45 272
サヤムシガ類	中旬の巡回調査では、発生ほ場23.8% (平年1.0%)、25株当たり被害か所数は0.4 (平年0.0) で平年に比べ多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率14.3% (平年1.0%)、25株当たり被害か所数は0.2 (平年0.0) で平年に比べ多かった。	県内全域	少	227
ウコンノメイガ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率28.0% (平年25.0%)、被害株率4.6% (平年5.6%) で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率14.3% (平年6.0%)、被害株率1.5% (平年0.6%) で平年に比べやや多かった。	県内全域	中 少 計	45 227 272

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
ダイズ ウワバ類等のチョ ウ目	中旬の巡回調査では、発生ほ場率81.0% (平成80.0%)、㎡当たり虫数1.4頭(平 年2.4頭)で平成並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率85.7% (平成65.9%)、㎡当たり虫数1.6頭(平 年0.8頭)で平成に比べ多かった。 主要種はウワバ類であった。	県内全域	甚 45
			中 318
			少 455
			計 818
フタスジヒメハム シ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率90.5% (平成75.7%)、㎡当たり虫数11.8頭(平 年10.9頭)で平成に比べやや多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率90.5% (平成82.3%)、㎡当たり虫数14.5頭(平 年13.4頭)で平成並みであった。	県内全域	甚 273
			多 318
			中 182
			少 91
			計 864
コガネムシ類	中旬の巡回調査では、発生ほ場率9.5% (平成6.5%)、被害度7.1(平成0.8)で 平成並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平 年2.1%)、被害度0(平成0.4)で平成並 みであった。	県内全域	少 91
ダイズサヤタマバ エ (調査ほ場数:20)	下旬の巡回調査では、発生ほ場率33.3% (平成7.1%)、被害率0.4%(平成0.1%) で平成に比べ多かった。	県内全域	甚 45
			少 273
			計 318

2 果樹

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
カンキツ (調査ほ場数:18) かいよう病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平成 8.6%)、発病果率0%(平成0.6%)、発病 度0(平成0.2)で平成に比べ少なかった。	—	—
黒点病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率88.9% (平成86.2%)、発病果率18.9%(平成 26.9%)、発病度3.9(平成7.3)で平成に比 べやや少なかった。	県内全域	少 890
ミカンハダニ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率38.9% (平成17.1%)、寄生葉率7.1%(平成2.7%) で平成に比べ多かった。一部で多発ほ場が 認められた。	県内全域	甚 56
			少 334
			計 390
ミカンサビダニ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平成 0.5%)、寄生果率0%(平成0.0%)で平成並 みであった。	—	—

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
カンキツ アブラムシ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率5.6% (平年20.3%)、寄生新梢率0.1% (平年2.3%)であった。主要種はユキヤナギアブラムシであった。	県内全域	少 56
ヤノネカイガラムシ	下旬の巡回調査では、発生は認められず、平年並みであった。	—	—
イセリアカイガラムシ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年1.6%)で平年並みであった。	—	—
ナシマルカイガラムシ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率44.4% (平年30.9%)、寄生果率4.4% (平年1.8%)で平年に比べ多かった。	県内全域	多 111 中 56 少 278 計 445
チャノキイロアザミウマ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率27.8% (平年10.5%)、被害果率0.6% (平年0.4%)で平年に比べやや多かった。	県内全域	少 278
ナシ (調査ほ場数:15) 黒斑病 (二十世紀:9)	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年18.9%)、発病葉率0% (平年0.0%)、発病新梢率0% (平年3.4%)で平年に比べ少なかった。	—	—
黒星病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率20.0% (平年19.3%)、発病葉率0.7% (平年0.5%)で平年並みであった。	県内全域	中 11 少 22 計 33
うどんこ病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年1.3%)、発病葉率0% (平年0.1%)で平年並みであった。	—	—
ハダニ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率20.0% (平年16.7%)、寄生葉率1.1% (平年2.2%)で平年並みであった。	県内全域	少 32
チュウゴクナシ キジラミ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率13.3% (平年12.0%)、寄生葉率0.2% (平年0.7%)で平年並みであった。	県内全域	少 22
ナシヒメシンクイ	8月26日～9月25日のフェロモントラップ(萩市小川、下関市豊北)における誘殺数は65頭(平年56.8頭)で平年並みであった。	県内全域	—
果樹全般 カメムシ類 (チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシ)	8月26日～9月25日の予察灯(県内4か所)における誘殺数は1,149頭(平年277.6頭)で平年に比べ多かった。主要種はチャバネアオカメムシであった。	県内全域	—

3 野菜

2023年9月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)	
キャベツ (調査ほ場数:10) モンシロチョウ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率10.0% (平年11.3%)、10株当たり虫数0.0頭 (平年0.1頭) で平年並みであった。	県内全域	少	14
コナガ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率10.0% (平年8.5%)、10株当たり虫数0.0頭 (平年0.0頭) で平年に比べやや多かった。	県内全域	少	14
ヨトウガ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率10.0% (平年2.8%)、寄生株率0.2% (平年0.1%) でやや多かった。	県内全域	少	14
ハスモンヨトウ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率60.0% (平年28.6%)、寄生株率11.8% (平年1.5%) で平年に比べ多かった。 主体は卵～若齢幼虫であった。	県内全域	甚 中 少	14 43 28
			計	85
シロイチモジヨトウ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率30.0% (平年7.0%) 寄生株率2.0% (平年0.2%) で平年に比べ多かった。	県内全域	中 少	14 28
			計	42
オオタバコガ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率30.0% (平年5.0%)、寄生株率2.0% (平年0.2%) で平年に比べ多かった。	県内全域	中 少	28 14
			計	42
ハイマダラノメイガ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率10.0% (平年0.8%)、寄生株率0.4% (平年0.1%) で平年に比べ多かった。	県内全域	少	14
ウワバ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率20.0% (平年4.3%)、寄生株率0.6% (平年0.1%) で平年に比べ多かった。	県内全域	少	28
アブラムシ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率20.0% (平年24.0%)、寄生株率0.8% (平年1.8%) で平年並みであった。	県内全域	少	28
イチゴ (調査ほ場数:12) うどんこ病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年7.2%)、発病株率0% (平年1.8%)、発病葉率0% (平年0.7%) で平年に比べ少なかった。	—	—	—
炭疽病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年1.3%)、発病株率0% (平年0.0%) で平年並みであった。	—	—	—
アブラムシ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率16.7% (平年26.9%)、寄生株率1.5% (平年5.4%) で平年に比べやや少なかった。 主要種はワタアブラムシであった。	県内全域	少	10
ハスモンヨトウ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率25.0% (平年14.3%)、寄生株率1.3% (平年0.5%) で平年に比べやや多かった。	県内全域	少	15
ハダニ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年21.5%)、寄生株率0% (平年5.9%) で平年に比べ少なかった。	—	—	—

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)																					
イチゴ コナジラミ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率16.7% (平年13.8%)、寄生株率0.3% (平年3.1%) で平年に比べやや少なかった。	県内全域	少 10																					
オオタバコガ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年0.7%) 寄生株率0% (平年0.0%) で平年並みであった。	—	—																					
シロイチモジヨ トウ	下旬の巡回調査では、発生は認められず平年並みであった。	—	—																					
野菜、花き類 アブラムシ類	防府市牟礼の黄色水盤トラップ(9月1日～30日)の誘殺数は222頭であった。	県内全域	—																					
ハスモンヨトウ	9月のフェロモントラップ(防府市牟礼)の誘殺数は7,772頭であった。 8月21日～9月20日の県内他地点のフェロモントラップの誘殺数は、下記のとおりであった。 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">フェロモントラップでの誘殺数 (頭)</th> </tr> <tr> <th>地点</th> <th>本年</th> <th>平年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>周南市熊毛</td> <td>4,258</td> <td>3,198</td> </tr> <tr> <td>山口市阿東</td> <td>1,050</td> <td>1,006</td> </tr> <tr> <td>萩市明木</td> <td>84</td> <td>219</td> </tr> <tr> <td>下関市清末</td> <td>639</td> <td>2,088</td> </tr> <tr> <td>柳井市伊陸</td> <td>1,993</td> <td>2,460</td> </tr> </tbody> </table> ※8月21日～9月20日の合計	フェロモントラップでの誘殺数 (頭)			地点	本年	平年	周南市熊毛	4,258	3,198	山口市阿東	1,050	1,006	萩市明木	84	219	下関市清末	639	2,088	柳井市伊陸	1,993	2,460	県内全域	—
フェロモントラップでの誘殺数 (頭)																								
地点	本年	平年																						
周南市熊毛	4,258	3,198																						
山口市阿東	1,050	1,006																						
萩市明木	84	219																						
下関市清末	639	2,088																						
柳井市伊陸	1,993	2,460																						
オオタバコガ	9月のフェロモントラップ(防府市牟礼)の誘殺数は130頭であった。	県内全域	—																					
シロイチモジヨ トウ	9月のフェロモントラップ(防府市牟礼)の誘殺数は325頭であった。	県内全域	—																					
コナガ	9月のフェロモントラップ(防府市牟礼)の誘殺数は0頭であった。	県内全域	—																					

お問い合わせ先

山口県農林総合技術センター(山口県病害虫防除所)

TEL (0835)28-1211(代)

E-mail a172011@pref.yamaguchi.lg.jp